



地元でスキーを 未来につなげる指導

神鍋ジュニアスキーチーム部長
いのうえ だいすけ
井上 大輔さん

日高町出身・在住。小学3年生から高校3年生まで神鍋ジュニアスキーチームに所属。現在は農業を営みつつ、神鍋ジュニアスキーチームの部長として指導にあたっています。スクールは10月中旬から体育館でのトレーニングを開始し、年末合宿や1月以降は雪上トレーニングなどを実施し、大会にも参加する。



▲万場スキー場や奥神鍋スキー場を中心に行なっている訓練を実施

地元にスキー場があり、国体選手の父の姿を見てきたので、幼い頃から自然とスキーを始めました。現在は、スキーを始めた子どもたちが、地元で後世にスキーの素晴らしさを広めてくれることを心から願って、指導にあたっています。スキーの競技人口が増え、チームが有名になることで、地域全体の活性化につながることが指導することのやりがいだと感じます。

昨年はチームから全国大会に出場する選手を輩出しましたが、単に技術を向上させるだけが指導

の目的ではありません。スキーは個人競技ですが、合宿時には他チームと合同で練習を行い、他チームの選手と同部屋で過ごします。そのため、合宿や練習などの場を通じて、集団行動や規律性そして社会性を学ぶことができます。子どもたちがスキーを通じて成長し、地元に残り、チームの運営やスキー場の活性化に携わることで、地域がより盛り上がることを期待しています。

神鍋で子どもたちが練習している姿を見かけた際には、ぜひ、応援してください。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—

麦わら細工「コウノトリ」を 寄贈していただきました



豊岡市無形文化財保持者の神谷 勝さん(城崎町)が市長室を訪れ、コウノトリ放鳥20周年と市制20周年を記念し、自身が制作した麦わら細工のコウノトリの作品を門間市長へ手渡しました。

今回の作品は、伝統的な麦わら細工の技術を取り入れつつ、背景を三色使いのモザイク風スタイルにし、一つ一つのパーツを単に重ねるのではなく慎重にはめ込んで作成されています。寄贈された作品は市役所本庁舎1階ロビーに飾っています。見る角度によって変化する麦わらの色も楽しんで、ぜひ、ご覧ください。

城崎出身の画家の作品が 首相官邸内に展示中



城崎町出身の画家、山田 毅さんの作品「城崎温泉カラソコロン」が、首相官邸内に本年6月下旬から2年間にわたり展示されることになりました。

城崎温泉が北但大震災で被災してから100年の節目の年に、復興した町並みを未来に残したいという願いを込めて、作品を送り出されました。城崎温泉の繁栄を願って、温泉街の中心を流れる大谿川を街明かりが照らす幻想的な情景が描かれています。

官邸での展示により、城崎温泉の魅力が広く発信され、認知度がさらに高まることが期待しています。

豊岡市
SNS



各施設・
事業の
SNS



豊岡市

※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマートフォンアプリのマチイロでも読むことができます。

UD
FONT

見やすいユニバーサル
デザインフォントを採
用しています。



環境に優しいベジタブルインキで
印刷しています。